

# 今月のゲスト

## 西成のどこが悪いのか

〈鼎談〉

井田 太郎

西成警察署 署長

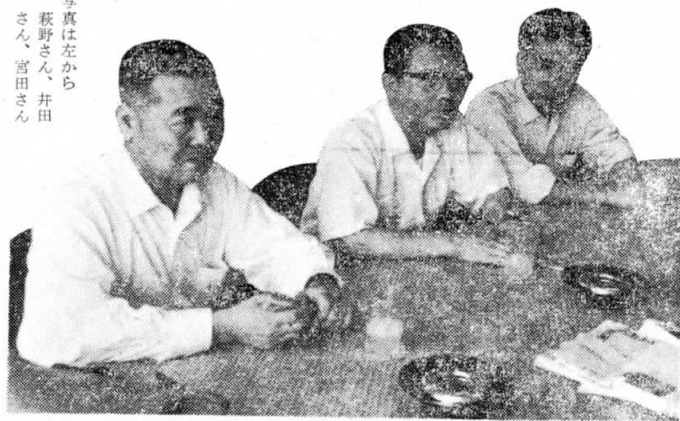
萩野 敏男

西成区 区長

宮田 秀太郎

大阪少年補導協会専務理事

写真は左から  
萩野さん、井田  
さん、宮田さん



☆映画で「太陽の墓場」、演劇で「がめつい奴」、テレビで「大阪野郎」等々西成はマスコミブームみたいの昨今ですが、悪の本場のような印象を与えるのが残念です、というのが出席者の弁。けれども、西成のどこが悪いのかということについて、その検討と対策をのべていただきます。

### ◆ なかなか死なない暴力団

宮田 この間の東京山谷のドヤ街での大騒ぎは大変だったようですね。

井田 実はネ。西成の一部が山谷と同じような状況にあるということから、山谷のような事件が西成に起らないように、又起しては申し訳ないということで、署員を現地に視察にやっただけです。

その報告によると、山谷には大体組織されてない日雇いがたくさんいて、その人達の宿銭が十円上がったという。——宿銭は毎年冬場は暖房用の燃料のために十円上げ、夏になったら下げた。今度は夏も下げずにそのままだった。それを宿銭が上ったのはマンモス交番ができ、その寄付にとられたためだと誤解した。また、マンモス交番を作ってわれわれを弾圧するつもりだろうというひがみをもって、その日の生活に困っているのに、特に大きなものを建ててわれわれをへいげいしておるというような反感をもつたらしい。

宮田 西成あたりのドヤ街周辺にはどんな

抗的態度に出るような機会を与えない。こういう方法をとっています。又特別取締隊ができて暴力団等の組織の解明はできています。ちょっとでも動きがあればすぐにわかります。それに山谷と違って釜ヶ崎と本署が近いのが強味です。山谷は警察署と一キロも離れているんですからね。

**宮田** 東西の条件の違いがありませんね。ところで区長さん、何といってもスラムの諸問題は、民生の安定が根幹になってくることだと思えますが……。

**萩野** 山谷の問題は新聞紙、週刊誌とかで取上げられているのを読むと、山谷も相当山谷自体がよくなるという努力が続いているように思えます。例えば簡易旅館組合が中心になって、山谷文庫をこしらえたり、芝居小屋を直営でやったり、テレビなんかおいて娯楽機関を設けるとかして地域全体をよくするために努力している。地域を明るくしようという見込みをつけている時に、マンモス派出所が出来て、それが襲われた。われわれとしてはそういう点で相当考えなければならぬと思う。ある評論家が『山谷の実態としては、犯罪集団と、普通集団と二つに割ることが出来る。犯罪集団は、マンモス派出所に対して自分達の生活が圧縮されるという点と簡易旅館が十円の

値上げということがこんがらがってあの問題が起った」といってましたが、山谷の地区改善運動というのは、ちょうど西成が考えておると、同じようです。例えば売春とか、暴力団に対しては警察では昨年、地域浄化対策委員会ができ、向うでは地域を中心に地域浄化連盟ができています。そうです。警察の方で暴力とか犯罪集団に対して強力に取締をして戴き、地区では地域活動を通じて地域全体の力で環境を浄化しようとしているわけです。東京では「スラムの山谷、暴力の池袋、新宿の売春」といわれているのに対して、西成は全部これを一本に受けている。山谷以上にむづかしい条件をもっている。犯罪集団の方は徹底的に、迅速に検挙される。一般の労働者層に対する行政的な進め方もやり易いんです。

**宮田** やはり区役所と警察と、この二つが緊密な連絡をとりつつ、行政の面に、あるいは治安対策をやっていくということが理想的なんじゃないですか。

**萩野** 全くそうです。例えば今後の進め方としては、犯罪暴力による圧迫は警察で防いで貰って、われわれは地域環境をよくする努力と、そこに住む人々の生活指導を考えていかなければならない。それには地域の各種団体の組織も非常に強力なものにし

なければならぬ。

**井田** 私の方の統計では、萩ノ茶屋、山王両地域は非行少年が断然多い。というの

◆大人に必要な生活指導

**宮田** 大切なのは、生活指導なんです。誰がどのように、何を指導するかです。あの地域に多い不学児童の発見と措置あたりから始めに……。

**萩野** 実是不学児童の統計数字がなかなか出てこない。だが一般的に言えることは、二十才から六十才までの層は一般の行政区と余り変わらないですが、子供持ちは案外少ないといえます。

**井田** ドヤ街の住民は子供が多いものが多い。

**萩野** 子供は一般よりも少ないから考え方によると子供の指導はしやすいともいえるし、逆に、少ない数でありながら非行少年が多いということは考えさせられます。おとなの悪い環境に染められている子供は、おとなの子供に対して殆んど指導していない。みてやらないんです。だから不学児童を含めて、保護者に対する生活指導が必要になってくる。

組織があるんですか。

**井田** 暴力団と名のつくのは、西成だけで七十六団体ある。殆んどがあの地域に集中し、その内訳は愚連隊が三十、売春暴力団が二十一、博徒が十三、テキヤが十二です。それ以外によその地区のそうした団体で西成に支部のようなものが十幾つあるので合すると九十。それらが主として萩ノ茶屋、山王の両地区にある。私が二年半程前に西成署長として赴任してきた時は五十くらいでしたが、組織が分裂して多くなった。まあ正確に言うと子分が分れて分家したんですね。

**宮田** 随分多いようですね。取締も大変でしょう。職安の方はどうなんですか。

**井田** 西成には阿倍野公共職業安定所西成労働出張所がある。そこに日雇人夫として登録されているのが現在三千五百名くらい。就労する人が、その八割。あとの五、六百人は、霞町交差点を東西に分れて釜ヶ崎の入口で手配師を待っている。安定所の方は日に四百円ですが手配師の方は七百円から八百円で体の丈夫な人はそちらの方へ

いく。あの地点が、ちょうど東京のマンモス交番のような地理的な環境の場所だ。手配師が三十人くらい

おるが、大體組織がない。問題が起るとすれば、勝手な行動はしない。

**宮田** だが大衆行動はないかも知れませんが、暴力団、テキ屋の殺パツな事件は多い



ようですね。

**井田** 主として殺人事件は組織間の抗争事件で起きている。殺人未遂——普通のものだったら死ぬが、ここのものは死なない。しょっちゅう刺されて傷だらけですが。この間も、校友会と神戸の山口組との事件のどっちもを受けて、ピストルで撃たれたのがあったが、ピストル四発撃たれて一発が当たった。胸の下のおぼろ骨三本通って肝臓をいかれて、骨盤のところで弾がとまった。これが診断書は一月月だが、ピンピンしている。免疫になっている。(笑)。それに「絶対死なん」という信念をもっている。死ぬというの

◆大切な、警察と区役所とのタイアップ

**宮田** 西成では山谷のような大騒ぎは起らない。起さないという自信があまりなんです。

**井田** そうです。あの事件が起ってからも別に変った対策は立ててない。しかし心構えとして、傷害事件などで警察官がいく場合、必ず二人以上行く。それと、派出所へ長く置かない。できれば直接本署へ連れてくる。たくさんの方が集まってきて、反

は、その地域の少年もあるけど、住所不定というのがある。よそから家出してきてここを行為地している子供、安宿に泊っている子供が非常に多い。

萩野 子供自体が不幸な環境におかれている。親と子が離れないような内職あっせん所とか託児所、こういうものが必要なんです。子供を抱えた気の毒な人に収容施設に子供を入れてやるうといってもなかなか離さないのがいますね。親子の愛情の外に自分の生活費の助けにもなるという考えもあるんでしょね。特に母子家庭よりも、父子家庭の子供は離れたがらない。

井田 西成では父子家庭の相談が多い。嫁さんが死んだというんじゃない、嫁さんに逃げられるんですわ。最近では貞操観念が薄いの、嫁さんが子供があらながら男と出ていってしまう。亭主が子供を抱えて、働きにいくにもいけないという家庭が多い。宮田 亭主族は気をつけなさい、いかなア。(笑声)もともと亭主族にも欠陥があるんでしょ。経済的な理由とか、その他諸々の理由が……。そして逃げられたの子供を抱えて釜ヶ崎にやってくるという事にもなるんでしょね。

◇生活はしやすいというけれど

社が守られるかといった点から考えるべきでないでしょか。ある学者はスラムの対策は教育と衛生だといったんですが、その点を噛み合わせての施策が必要でしょう。

井田 敷金を払う金はない。権利金なしで、高くて毎日その日その日ドヤ代を払っているのが実状です。日雇に依っている大半はそれです。

萩野 それと酒ですね。

井田 金が入ったら働きませんわ。一日千円貰ったら、二日か三日は働かんらしいです。そういう生活習性の人が多い。

萩野 生活指道は非常に地道な仕事やと思うんですが、彼等にはそれが必要なんです。それをやるような人材を、もっと市民館あたりに大勢入れていただく。そういう生活で長い間きている人を急に明日から態度を変えようという事は不可能です。

しかし生活設計を立てなければ自分の生活が、将来の見通しが立たないから、そこちよっとでも考える、というくせをつけさすことは、非常に効果があると思う。宮田 宿屋に泊れる人はまだいい。今頃駅なんかたたくさん寝ている人、これはさらにそれ以下の人だと思わんで。問題はもっと根深く且つ広いようですね。

井田 西成区の釜ヶ崎周辺は物が安いというところ、食べ物の安いということ、非常に暮らしやすい。そういう事の外に悪いものの集まる一番の原因は、お互いに相手のことを詮索しないことなんです。自分のこともいらない代りに、人のことも聞かない。身許を洗わない。これが一番大きな原因だと思ふ。南や船場のド真中で、朝から晩まで道路にひっくり返っていたら、死んでるのじゃないかと思うがそこではどんなことがあってもそれに触れようとしな。いわゆる神経が太いというか、なれっこになってしまっている。

萩野 ドヤ街に割合長い定住者も相当いるんでしょ。短期居住者の外に五年も七年も、長い間、ドヤの一室を借りてやっていると連中がいる。それが一般の勤労者階層なんです。今後の生活指導でそういう人に対しては安易に低家賃住宅を建てて、生活の心構えと態度を切り換えさせてやるべきでしょね。普通の社会生活からいって、煩雑な社会生活よりも、あの街に入ると身許も問われないし、何をしようとか此判されない心安さはあるが、果して本当に生活がしやすいかどうかということを考えないといけない。

萩野 現在のような経済情勢だと、働こうと思えば大体働ける情勢ですね。ドヤ街で労働している人を分析してみたら、働いて生活をよくして、金を貯めてよそにいくという意欲をもっている人。その生活になじんでしまっ、食っていったらいいという人。また働く能力の面で非常に劣っている人があります。住人を分析してみても、怠け者なんかは別の角度からみないといけない。生活能力の非常に薄い人、頭の足らないような連中に対してはそういう手を打たないと、一がいにスラム街だといって同じ手を打ってはいけない。今までそういう点で、資料的にも何もなかったがこの機会に地元の協力を得て、学者グループの分析も進めていって、やっていきたい。

◇『カスパ西成』への抗議

宮田 西成というところ、いろんな面の問題点が多いんですけど、西成といってもずいぶん広いようですね。

萩野 面積は大抵七平方キロもあるんですけど、人口は二十万といっています。

宮田 その中で、スラムとか、問題地区とかいわれているのは、西成の東北の一部ですね。

定住しているような人の家賃を調べてみると、六千円から八千円くらい払っている。すると普通の住宅費からみたら安いのかどうかという問題がある。食事の問題にしても、果して一食三十円とか二十五円とかいっていますけど、カロリーのみにみて本当に安いのかどうかということも研究対象にする問題がある。

◇現実と福祉施策との結び目

宮田 あの付近には公営の住宅とか、公営のアパート、公営の食堂はないんですか。萩野 身体障害者の収容施設はあるが、普通の労働者に対しては容れられない。施策を進めていく上について、考えておかなければならないのは、彼等の経済形態をある程度分析しておかないと、非常に摩擦が起ってくる。山谷の場合もマンモス派出所ができて、売春なんか非常にせばめられた。そうすると結局商店街がさびれてしまうということも、山谷の浄化のマイナス面としてあったんじゃないですか。あんまり急激にやっても抵抗が起ってくる。日銭で生きているという現実から離れてはいけない。

宮田 勿論現実から遊離したのは駄目。彼等の経済的立場から、どのようにすれば福

井田 そうですね。問題地区は西成区全体の地域から言うと、十分の一くらい面積の区域です。西の方は工場地帯ですし、南の方は住宅街です。中央が商店街、西北部が住宅街で、問題地域以外は、外の区と比べて大差ない。むしろ外の地域の悪いところよりもいいところが多い。ただ単に「カスパ西成」というのが、全体が悪いんじゃない、山王、萩ノ茶屋両地域に悪い地域が多いので、全体的には、ごく一部です。新聞とか、テレビ、ラジオでは、西成全体が悪いような印象を与えて、西成区民は迷惑している。しかも特殊な地域といえども、地元で従来から住んでおる人が悪いことをするんじゃない、他府県からきて、そこに泊って、そこを本拠として悪いことをする連中が多い。地元で従来から住んでおる善良な住民はマス・コミの被害者の立場にある。よく映画や、テレビなんかでやるような、あれに近いような状況はあります。映画やテレビの内容が全く事実無根というものはない。ところが住民であって、そのような事実をみたことのない多くの人は憤慨している。反対に彼等の中へもぐり込んだ人はそれ以上のものをみておるかからん。実際命知らずの殺し屋が多いことなんかは事実です。

宮田 まあ大変でしょうが、御健闘下さい。じゃこの辺で……。